

次期固定翼哨戒機 (P-X) および次期輸送機 (C-X) ゴム 部品の開発・受注の紹介

Development of Rubber Parts for the New Patrol Aircraft and Transport Aircraft

当社では、防衛庁の事業計画において近年退役予定にある海上自衛隊の固定翼哨戒機 P-3C、航空自衛隊の輸送機 C-1 の後継として、2001 年度から開発を進めている次期固定翼哨戒機 (P-X) と次期輸送機 (C-X) の航空機 2 機種に関して、部品供給会社として参画してきました。

主契約企業は川崎重工業 (株) 殿で、同社を始め協力機体会社および開発参画企業と共に開発作業を進めてきた中、約 250 以上にも及ぶ多数アイテムを受注しました。受注アイテムには、Oリングを始めとするシール部品、ガスケットおよびその他成型品など、機体、装備機器全般に渡っています。開発過程では、顧客ニーズに合わせた開発、試作確認、3D CAD (CATIA) による直接の CAD/CAM データの授受によって、開発から製造までの期間短縮を図り、短納期対応に努めてきました。

1. 次期固定翼哨戒機 (P-X)

潜水艦の探知と周辺海域の警戒監視・哨戒、遭難船舶の捜索等の多様な任務を行うことを目的とする哨戒航空機です (図 1 参照)。現行の海上自衛隊固定翼哨戒機 P-3C は 2010 年度以降、耐用年数の経過により所要機数を割り込む見込みであることから、後継機への切替が必要となっています。次期固定翼哨戒機は現行機に比べ、飛行性能及び音響システム (探知用)・レーダー (哨戒用) などの性能向上が見込まれています。



図 1 次期固定翼哨戒機 (P-X) (完成イメージ)
【防衛庁 Web サイトより転載】

2. 次期輸送機 (C-X)

兵員・物資などの戦術輸送、あるいは国際協力任務等を行うことを目的とする輸送航空機です (図 2 参照)。現行の航空自衛隊輸送機 C-1 は 2011 年度以降、所要機数を割り込む見込みであることから、こちらも後継機への切替が必要となっています。次期輸送機は現行機に比べ、将来の戦術空輸所要、国際協力活動への使用も考慮し、搭載量、速度および航続距離などの性能向上が見込まれています。

3. 今後の予定

次期固定翼哨戒機および次期輸送機の静強度試験機 (静強度を地上で確認するための試験用供試体による機体全体の試験)、ならびに同両飛行試験機の組立が進められている中、2006 年度から全機静強度試験が防衛庁で実施され、2007 年度には初飛行が計画されています。当社ではその間、試験によりフィードバックされた各部品の改良設計、短期間での部品供給をサポートしていく予定です。

お問合せ先

機器部品事業部

東京本社	機器部品営業部	営業第一課	TEL (03) 3216-1593
中部支店	機器部品営業課		TEL (052) 581-0713
関西支社	機器部品営業課		TEL (06) 6881-5207



図 2 次期輸送機 (C-X) (完成イメージ)
【防衛庁 Web サイトより転載】